

つながりを切らない
孤立させない
新しいつながり方を提案する

つながる通信

第15号

発行日 2020年5月21日(木)

発行元

「つながりを切らない」情報・交流ネットワーク

〒981-0932

仙台市青葉区木町16-30 シンエイ木町ビル1F(CLC内)

FAX: 022-727-8737 E-Mail: t-net@clc-japan.com

ホームページ: <https://www.t-net.online/>

- ・民生委員、児童委員の皆さんに…
- ・サロンや地域のボランティアの皆さんに…
- ・配食のお手紙に添えて…

こんなふうに使ってね

この通信の印刷、配布はご自由にご利用ください。記事やイラストの一部を転載・転用する場合は、t-net@clc-japan.comまでご連絡をお願いいたします。

子育て中の「いま」に寄り添い、つながりを続ける NPO法人子育て支援のNPOまめっこ(愛知県名古屋市)

NPO法人子育て支援のNPOまめっこは、名古屋市から名古屋市地域子育て支援拠点の受託をして北区で3か所の子育てひろばの運営・開催と、名古屋子ども子育て支援センターをコンソーシアムを組んで受託し運営しています。

初代理事長は、転勤族。親戚も友人もいない名古屋で子育てをするなかで、「乳幼児とその保護者への支援が必要」「いつでも行ける場所があれば」という思いから、子育てひろばの開設に尽力しました。開設する場所は、商店街にこだわったと言います。なぜなら、働く人と暮らす人が行き交う場所であり、身近にいろいろな大人がいて、自然な形で触れ合えるから。子育て支援をとおしてまち

づくりのビジョンを描いていたそうです。そうした思いから、2003年、経済産業省のコミュニティ施設活用商店街活性化事業と、名古屋市の商店街空店舗活用事業助成を受け、柳原商店街に、1か所目の子育てひろば「遊モア 柳原」を開所しました。

遊モアは、週5回、9時30分から14時30分に開所しています。11時30分からのお昼ご飯の時間には、自宅からお昼ご飯を持ってくる人もいれば、両隣の障害者支援NPOや食堂で、日替わりランチやお惣菜を買って食べる人も。開所時間、ずっと利用している人もいれば、午前中だけ、午後だけ、と都合に合わせて無料で利用できる親子のための居場所です。

外出自粛要請が出てから、ひろばの開催を中止しています。そこで始めたのが、オンラインの子育てひろば。現理事長の中井恵美さんは、「当初、『2週間後まで』など、期間を示しての休業要請が出されていたけれど、それが『当面の間』となった。先が見えずに不安のある親子は、『当面』というあいまいな言い方ではしんどさを抱えきれなくなってしまう。何とかしなければ、と思った」とそのきっかけを話します。

当初は週5回、オンラインの子育てひろばを始めましたが、現在は、週3回。長期化に備えて「無理なく続けられるペースで」続けています。月曜日は手づくりおもちゃ、水曜日はテーマトーク、金曜日または土曜日は外部講師によるゲスト企画というプログラムで、定員は13人。14時30分からの30分間はおもに運営者が進行し、15時からの30分間はフリータイム。「最近、お風呂を嫌がるようになった」などの発言があると、近い月齢の子をもつ母親から「うちはこうしていたよ」といったアドバイスも。「参加者は遊モアに来ていた親子なので、それまでの様子を知っている。だから、『そろそろ離乳食は2回から3回に増やすところじゃない?』といった具体的な話しかけもできる」と中井さん。

オンラインでの子育てひろばを始め

5/9(土) 第10回 Zoomで子育てサロン開催しました!
トークテーマ: 「お家時間を楽しむアイデア」



オンラインの子育てサロン。子どもと一緒にいい笑顔

て、予期せぬメリットもあったと言います。「来所型のひろばではつながりが切れてしまいがち、第2子を出産したばかりのお母さんや、里帰り中のお母さんなどとも、オンラインだからこそつながりが続けられる」と中井さん。ひろばの再開は「未定」と言いますが、再開してもオンラインのひろばも並行して続けたい、と抱負を語ります。

つながるポイント

- ・漠然とした不安や悩みに応える、オンラインのツールを開発
- ・オンラインの強みを活かして、状況や距離で切れてしまいがちなつながりも保ち続けられる

休校中の子どもたちにも、弁当を配布する

大宮地区社会福祉協議会・鳥見地区社会福祉協議会(奈良県奈良市)

5月31日までの市立小学校の休校が決定している奈良市。休校中の子どもたちになにかできないかと、大宮地区社会福祉協議会が立ち上がりしました。13、837人が住む大宮地区は、奈良市の中心部にあります。子ども食堂など一堂に会する場合は開催自粛が続いていますが、持ち帰りのお弁当を渡すことならできると、「おもたせ昼ごはん」がスタートしました。奈良県・奈良県社協と「奈良子ども食堂ネットワーク応援プロジェクト事業実施協定」を締結した。パン屋さんや、地元飲食店が協力し、170〜200食の飲食店が協力し、170〜200食のお弁当をつくっています。お弁当は無料。チラシで広報し、事前に予約を受け、クラスターにならないように受け取り時間を指定します。さらには、取りに来る前には検温を呼びかけ、配布場所ではスタップのマスク・消毒はもちろん、赤外線体温計での検温も実施し、感染予防にできるかぎ

おもたせ昼ごはん 日程追加のお知らせ

「おもたせ昼ごはん」(「おもたせ!」)と休校中に休校した子どもたちを支援するために、大宮地区社会福祉協議会(以下「大宮地区社協」)が、鳥見地区社会福祉協議会(以下「鳥見地区社協」)と連携して実施しています。5月11日までの日程追加のお知らせです。詳細はチラシをご覧ください。

1. 配布日 令和2年4月7・8・9・10・13・14・15・16・17日 9日
2. 配布時間 11:00~11:30
3. 配布場所 鳥見地区子どもセンター(0)学童(学童)で
4. 配布内容 検温・お弁当 など
5. 費用 無料
6. 申し込み 鳥見地区社協に申し込み済みの日、5月17日まで電話かお便りください。お弁当の受け取りは、お弁当の受け取り時間(学童・お弁当)をお便りでお知らせください。
7. その他

家に帰ったらしっかり手を洗おう!

Club of Nara-Omiya

大宮地区「おもたせ昼ごはん」のご案内チラシ



大宮地区の子どもたちから
お礼のメッセージ

りの対応をしています。

大宮地区の活動を知った鳥見地区社会福祉協議会にも、この取り組みは広がりました。鳥見地区は9,034人が住む住宅地。ここでは、「おふくわけランチ」と称し、4月22日から毎週月・水・金曜日に、近隣よりお弁当を購入して無料で配布しています。5月11日までに配布したお弁当はトータルで1,910食。「子どもたちのために使ってほしい」と寄せられた寄付金をもとに無料配布を行っており、300人ほどの申し込みがあります。大宮地区同様、配布時間に混雑しないように受け取り時間を指定します。配布に並ぶときも、十分な距離を保つように、ショッピングセンターのポールを目印に並ぶように声かけをしています。お弁当を受け取ったあとは、家に帰って食べるように、箸を入れずに渡しています。

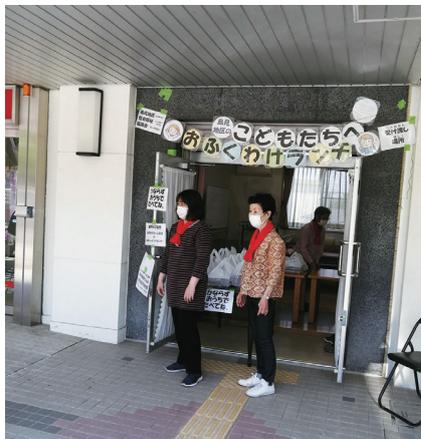
休校延長が決まったことから、公園で役員会を行い、5月22日までの実施を決めました。本日は5月31日までの休校期

間中に実施を続けたいとのことですが、寄付金が底をつき、助成金などを申請しながら、子どもたちのためになんとか続けられないかと模索をしています。

つながるポイント

- ・子ども食堂でつどえなくても、持ち帰り弁当の配布で地域とのつながりを切らない
- ・ほかの地区の取り組みを知り、「自分の地区にも取り入れよう」と、アイデアが循環する

鳥見地区のショッピングセンターのポールを、ソーシャルディスタンスの目印に



鳥見地区、お弁当を準備して子どもたちを待つ

編集後記

なじみの居酒屋が、1か月半の休業を経て、ふたたび開店しました。大将の料理と、元パスガイドという女将さんの明るい接客と。さて、いつ行こうかと思いを巡らせています。

「つながりを切らない」
情報・交流ネットワークで
最新情報をチェック!



「つながりを切らない」
情報・交流ネットワーク

<https://www.t-net.online/>

<各地の実践をお寄せください!>

「つながる通信」では、各地での実践を募集しています。「わがまちでこんな取り組みをしている」「私たちはこんな工夫をして、気になる人とつながっている」、そんな情報を編集部までお寄せください。後日、編集部より電話などで取材をさせていただきます。情報は、E-mail:t-net@clc-japan.com、fax:022-727-8737まで。E-mailの場合は、タイトルを「情報提供」としていただき、①活動内容、②ご担当者名、③ご連絡先を記載ください。本通信の感想やご要望もお気軽にどうぞ!

